

平成 29 年度第 2 回航空隊員研修会(長崎市)を開催

平成 29 年 12 月 7 日(木)・8 日(金)の二日間に亘り、長崎市の長崎県農協会館において平成 29 年度第 2 回航空隊員研修会を開催いたしました。

【1 日目 12 月 7 日(木)】

- 14:00 ~ 挨拶 長崎県危機管理監危機管理課長 陣野 和弘 様
14:10 ~ 事例発表 I 「長崎県防災航空隊の活動と概要について」
長崎県防災航空隊長 中本 兼広 様
15:10 ~ グループ討議
16:20 ~ グループ討議
18:00 ~ 意見交換会
挨拶 長崎県危機管理監危機管理課参事 遠藤 雅敏 様

【2 日目 12 月 8 日(金)】

- 9:05 ~ 講演 I 「ヘリコプター動態管理システムの有効活用に関する調査研究専門委員会中間報告」
富山県消防防災航空隊長 広瀬 優 様
10:00 ~ 事例発表 II 「平成 29 年 7 月九州北部豪雨について」
福岡市消防航空隊運航第 1 係長 岩永 誠 様
11:00 ~ 講演 II 「海上自衛隊第 7 2 航空隊の概要及び急患輸送等の状況について」
海上自衛隊第 7 2 航空隊
飛行隊長 2 等海佐 田中 成一 様
12:05 ~ 消防庁講評 総務省消防庁広域応援室航空係長 殿谷 英彦 様
12:20 ~ 質疑応答 意見交換 事務連絡等
12:30 閉会

《隊員研修会に参加して》【アンケート結果より抜粋】

- ・今回の研修では、動態管理システムに関することや豪雨災害における活動状況等、ホットな情報ばかりで、大変勉強になった。
- ・九州北部豪雨の事例で「航空運用調整班」のことに触れていたが、今後、調整班についての研修等があればと思います。
- ・大規模災害時に、消防・警察・海保・自衛隊等、関係機関との連携を深めるためにも、今回のように、自衛隊等関係機関の活動内容を知ることは大変貴重なことだと思った。
- ・海上自衛隊の講演を聞き、活動レベルの差を感じ感銘を受けた。自分たちも少しでもレベルを上げれるよう努力しなければならないと思った。
- ・グループ討議において、他都道府県の航空救助隊員と意見交換ができ、救出方法や救助事案、資機材、考え方などを知ることができ、非常に有意義であった。
- ・グループ討議において、今回は、全国をランダムに振り分けたグループとなっていたため、より地域特性に応じた様々な活動があることが認識できた。
- ・グループ討議では、事前にリーダーの選出などが行われていたため、以前よりスムーズな討議となった。しかし、討議時間をもう少し増やしていただくとより充実した内容になるのではと思った。

・・・など、多くの意見を頂きました。